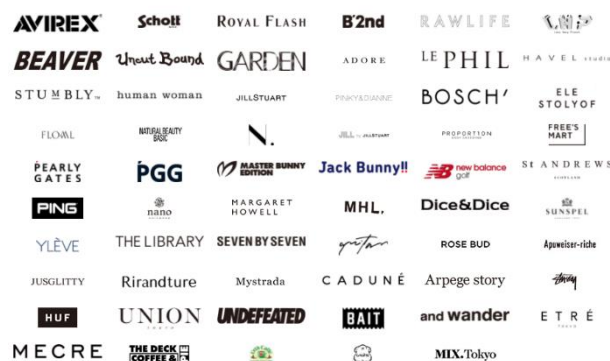


TSIホールディングスがレクトラのKubix Link PLMでDXを加速 情報のデジタル化でモノづくりの効率化とクリエイティビティを強化

2021年10月5日、レクトラは、株式会社TSIホールディングス（以下、TSI）が、レクトラの製品ライフサイクルマネジメントKubix Link（キュービックスリンク）を導入したことを発表します。

TSIは、2011年6月に株式会社東京スタイルと株式会社サンエー・インターナショナルの共同持株会社として設立されました。TSIはナノユニバース、マーガレットハウエル、ステューシーなど有名アパレル59ブランドを運営しており、ECチャネルの大幅拡大やユニファイドコマース、スマートファクトリー建設、ロボット物流の稼働等、デジタル戦略への積極的な投資を行っている日本のファッション業界をリードする大手アパレル企業です。



TSIは、変容する顧客のニーズにより迅速に対応するため、更にはグローバルな市場へ成長と飛躍を遂げるために、高度なデジタルサプライチェーン改革による生産性改善とビジネスモデルの進化を目指しています。

同社では、自社開発ブランドに加え、M&Aでグループに加わった海外発ブランドなど、企業風土の異なる59ブランドが、それぞれの文化でモノづくりのプロセスや情報を管理していました。当事者毎の属人的な生産背景によりルールが分断されていた商品情報、非効率な業務課題から脱却し、サプライチェーン全体のプロセスのリアルタイムな可視化を実現し、グループ業務標準化と業務生産性向上、プロダクトそのもの的高速化改革が必要と感じていました。

プロダクト改革を推進する一環として、PLMソリューションの導入を検討していた同社は、レクトラのKubix Link PLMの柔軟な構成や様々な機能に関心を持ちました。情報の一元化によって社内外のコミュニケーションプランやコラボレーションが効率化されて、モノづくりの情報の共有や進捗の把握が容易になり意思決定のプロセスが加速されるシステムであること。柔軟な機能拡張や外部システムとの連携に自由度があり、広い業務範囲に対応可能で、店舗・EC商品の分析や予算立案などのMD業務の効率化が促進され、ローパー消化率や粗利の改善が期待できること。そしてそれらの効率化された時間をクリエイティブ作業に集中してブランド力の強化が望めることなど期待し、Kubix Linkの導入を決定しました。

TSIで既に導入をしている3Dデザイン今回導入するPLMとの連携を皮切りに、来年度以降に予定している、次世代物流関連システム、海外アソート対応システム、企業業績管理システムとの連動を見据え、高度化したシステムプラットフォームへと昇華する事で、更なる業務改革を促進する予定です。

同社の代表取締役社長の下地毅氏は、レクトラのKubix Linkについて「TSIグループ全社で取組むDXの一環として、今回モノづくりの業務改革のためにレクトラ社のソリューションを導入することにしました。多種多様なブランドを運営するTSIにとって、経営の効率化とブランド力・商品力の強化を同時に達成するためには、情報の一元化・デジタル化は喫緊の優先課題です。Kubix Link PLMの業務テンプレートを最大限に活用することで、短期間で業務の標準化が達成され、生産性の向上に寄与することを期待しています。また、同時にデジタル化の果実を業界全体で享受できるよう、PLMを利用したブロックチェーン技術などを活用し、業界標準のデータ交換モデルを確立したいと考えています」と述べています。

レクトラ・ジャパン株式会社、代表取締役の田中昭彦は次のように話しています。「今回、日本を代表するアパレル企業であるTSI様に弊社のPLMソリューションであるKubix Linkを選定していただき、大変うれ

しく思います。弊社はこれまでファッション業界における DX の実現、データドリブンのプロセス改革の必要性について訴えてきましたが、TSI 様におきましては経営層の皆様が明確な課題意識と必要性の理解、そして組織全体での統率と共有をさせていただいており、このプロジェクトは必ず成功裏におわると確信しております」

また田中は今回の導入について「TSI 様は、今回の PLM の導入をきっかけに、サプライチェーンの横断的なデータモデルの標準化にも取り組み、業界全体のデジタル化への旗振り役となるべく積極的な声掛けを始めていらっしゃいます。Kubix Link を活用したデジタル化の取り組みが、TSI 様のみならず日本のファッション業界全体の生産性の底上げに寄与できるようサポートしてまいります」と述べています。

株式会社 TSI ホールディングスについて

株式会社 TSI ホールディングスは、59 のアパレルブランドを運営する日本の大手アパレル企業です。2021 年 7 月には、経済産業省が定めるデジタルトランスフォーメーション認定制度に基づく「DX 認定事業者」の認定を取得しました。DX/データドリブによる経営と、生産性の質の改革や SCM 改革などを推進しているデジタルファッションカンパニーです。

詳細についてはこちらをご覧ください。 <https://www.tsi-holdings.com/>

レクトラについて

レクトラは、ファッション・アパレル、自動車内装、家具業界、その他の企業に対し、業界のデジタル化をサポートするプレミアムなテクノロジーを提供します。ブランド、製造業、そして小売業のお客様に、デザインから生産に至るまでの製品を提供し、信頼と安心をお届けします。1973 年に設立されたレクトラの 2020 年の売上は 2 億 3600 万ユーロで、ユーロネクスト (LSS) に上場しています。

2021 年 6 月、レクトラは 1968 年に設立された米国のガーバー・テクノロジーを買収しました。レクトラと同様に、ガーバー・テクノロジーは、世界中のファッション、自動車、家具業界向けに、ソフトウェアや自動化ソリューションを開発しています。

詳細については www.lectra.com (英語)、www.lectra.com/ja (日本語) または www.gerberetechnology.com をご覧ください。

ソーシャルネットワークでレクトラをフォロー



報道関係者様向け連絡先

レクトラ・ジャパン株式会社 マーケティング部

担当：加島

電話: 06-4964-1251

E メール: m.kashima@lectra.com